



神奈川歯科大学附属病院 ニュースレター

2026年5月1日発行 18号

病院長就任のご挨拶

横浜クリニック・研修センターより、本年4月から附属病院の
病院長として赴任いたしました、木本克彦でございます。

当院は1964年の開院以来、地域医療を支える拠点とし
て、また未来の歯科医師を育てる臨床教育の場として、60年
以上の歴史を重ねてまいりました。2017年の新病院移転以降
は、デジタル診療機器の導入や、全身の健康を見据えた医科
診療部門の充実など、次世代を見据えた新たな歯科医療のか
たちを目指しております。これまで当院を信頼しご来院くださった
患者様、そして温かく支えてくださった地域の皆様に、心より御
礼申し上げます。

医療を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、どのような時
代においても、患者様お一人おひとりに寄り添う姿勢が何より大
切であると考えております。多職種が連携するチーム医療、デジ
タル技術を活用した精度の高い診療、そして次世代を担う医
療人の育成といった大学病院としての使命に、今後も一つひとつ
丁寧に取り組んでまいります。

臨床・教育・研究、さらには病院運営が調和することで、地域
の皆様へ信頼され、安心してご利用いただける医療の拠点であ
り続けられるよう努めてまいります。

本ニュースレターでは、当院の方針や取り組みについて、今後も
定期的にご紹介してまいります。ご一読いただけましたら幸いに
存じます。

今後とも、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく
お願い申し上げます。



【略歴】

- 1988年3月 神奈川歯科大学卒業
- 1988年6月 神奈川歯科大学 補綴学教室
第3講座助手
- 2000年9月～2002年3月 カリフォルニア大学
ロサンゼルス校 (UCLA) 歯学
部補綴科 客員研究員
- 2003年11月 神奈川歯科大学 顎口腔機
能修復学講座 歯科補綴学分
野 講師
- 2007年4月 神奈川歯科大学顎口腔機能
修復学講座 クラウン・ブリッジ
補綴学分野 教授
- 2013年4月 神奈川歯科大学大学院 咀嚼
機能制御補綴学講座 教授
- 2015年10月 神奈川歯科大学大学院
口腔機能修復学講座 教授
- 2021年4月 神奈川歯科大学歯科補綴学
講座 クラウン・ブリッジ補綴学
分野 教授 (現在に至る)
- 2023年2月 神奈川歯科大学附属
横浜クリニック 院長
- 2026年4月 神奈川歯科大学附属病院
病院長 (現在に至る)

病院運営委員会メンバーの紹介

副病院長 村上健彦



このたび、医療安全ならびに院内感染対策を担当する副病院長を拝命いたしました。医療安全と感染対策は、日々の診療を支える病院運営の基盤であり、患者さんに安心して医療を受けていただくために欠かすことのできない重要な柱です。職員一人ひとりが高い意識を持ち、部門の垣根を越えて連携しながら、より質の高い安全な医療を提供できる体制づくりに努めてまいります。新たな体制のもと、病院長を補佐し、地域の皆さまに信頼され、安心して受診していただける病院であり続けられるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副病院長 小牧基浩



歯科臨床・臨床研究を担当いたします。臨床に強い神奈川歯科大学のさらなる発展を見据え、病診連携の強化を基盤に各診療科の強みを伸ばし、連携による質の高い専門医療の提供を推進します。また、臨床現場の疑問に大学院研究科との連携で応える新たな大学附属病院像を構築し、臨床のみならずアカデミアとして地域医療の未来創造に貢献してまいります。さらに、歯科を軸とした多業種連携により、糖尿病・高血圧・認知症対策の確立を目指し、健康寿命の延伸に寄与します。地域とともに歩む附属病院の実現に向け、みなさまと取り組んでまいりたいと存じますので何卒よろしくお願い申し上げます。

副病院長 星 憲幸



本年度より副病院長を拝命いたしました、星 憲幸です。当院は、未来の歯科医師を育てる教育病院として「スチューデント・デンティスト」などの臨床実習を行っております。患者様のご理解に支えられながら、常に質の高い歯科治療を将来にわたって維持できるよう、全力を尽くしてまいります。また、病院のデジタル化（DX）を推進することで、皆様にとってより身近で有益な病院を目指し、地域医療の発展に努めてまいります。これからの教育と診療におきまして、引き続き温かいご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

総医局長 杉原俊太郎



本年 4 月より総医局長を拝命いたしました杉原俊太郎と申します。当院にはご高齢の方や全身疾患をお持ちの患者様も多く来院されます。皆様に少しでも安心して受診していただけるよう、日々の安全管理を何よりも大切に、一つひとつの診療に真摯に向き合っていく所存です。各科の専門医や医科との連携を深め、地域の皆様の健やかな日常を支えるお手伝いができればと考えております。スタッフ一同、誠実な医療を心がけてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

総看護師長 山本 潤



2012 年に認定看護管理者資格を取得しその 2 年後に本学附属病院に入職させていただきました。入職当時からの「口腔から全身へ」「全身から口腔へ」の理念をモットーに 10 年先の医療と看護を見据え、口腔外科のみならず医科外来（糖尿病内科・腎臓病内科・内視鏡科・睡眠時無呼吸症候群・物忘れ外来）での看護体制の整備と、医療安全・感染防止に特化したスタッフ教育に努め、近隣医療関係の皆様からのご指導ご鞭撻をいただき、地域医療の充実と患者様の満足のお役に立てることを目標に尽力いたします。

院務部 次長 金井重興



本年 4 月より、新体制のもと新たな気持ちで、歯科・医科併設の附属病院として、地域に貢献できる取り組みを積極的に行って参りたいと思っております。これまで培ってきた診療体制をさらに発展させ、より質の高い医療サービスを提供できるよう努めてまいります。また、地域の皆さまに信頼され、選ばれる病院であり続けるため、職員一同が安全・安心を第一に、患者さまに寄り添った医療を実践してまいります。新体制のもと、より一層の連携強化と業務改善を進め、地域医療の発展に寄与できるよう尽力してまいります。

市民公開講座

そのいびき大丈夫？ 睡眠時無呼吸症候群・睡眠障害のお話

2026年3月7日(土)、当院にて市民公開講座を開催いたしました。今回のテーマは本学附属横浜クリニック 麻酔科教授 有坂博史先生に「睡眠時無呼吸症候群」について講演をお願いし、地域住民の皆様を対象に、当日は約80名のご参加をいただきました。

講座では、まず睡眠時無呼吸症候群とは睡眠中に呼吸が何度も弱まり、日中の眠気や心血管疾患リスクを高める疾患だと説明されました。その上で、原因や症状、検査および治療方法について解説され、特に、**CPAP(持続陽圧呼吸療法)は改良が進み、装着の負担が減ったことで、近年では治療を続けやすくなっている**と紹介されました。

また、本講座は講師の有坂先生によるユーモアを交えた易しい語り口も印象的で、終始和やかな雰囲気の中進行されました。成人においては完治が難しい場合も多い一方、適切な治療や生活習慣の改善により、睡眠障害や合併症リスクの低減、QOLの向上が期待できるとともに、睡眠時無呼吸症候群の治療は「終了するもの」で

はなく、「**継続的に健康を支えるもの**」として取り組む重要性が強調されました。講演後の質疑応答では、「治療方法の選択」など、具体的な質問も寄せられ、皆様の関心の高さもうかがえました。

今回は、睡眠時無呼吸症候群への理解を深め、早期受診の大切さを伝える機会となりました。今後も当院では、地域医療への貢献を目的とした啓発活動に努めて参ります。



オンライン共同医療システムの登録方法を簡素化！

附属病院では、地域医療連携のさらなる強化を目的として「オンライン共同医療システム」の活用を推進しております。本システムは、登録医の先生方が当院の高度な医療設備や専門医と連携し、オンライン相談や共同診療を行える仕組みです。

登録医のメリットとして、

- ① 専門医への迅速な相談が可能
- ② 全身麻酔下治療や高度医療機器の共同利用
- ③ 診療所と病院の役割分担による継続的で質の高い医療提供

が挙げられます。これにより、患者さんは紹介・逆紹介を通して一貫した治療を受けることができ、地域全体の医療水準の向上にも寄与します。

さらに、近年の診療報酬改定において重視される「口腔管理体制強化加算」との関係でも、本システムの活用は有用です。大学病院との連携体制を明確に構築することで、より安全で計画的な口腔健康管理が可能となり、地域完結型医療の実践にもつながります。

地域の先生方との連携は、これからの歯科医療に不可欠です。

ぜひ本システムへの登録をご検討いただき、患者さんにとってより安心・安全な医療提供体制の構築にご参画ください。

なお、本システムへの登録は二次元バーコードから簡便にお申込みいただけるようになりました。あわせて、登録医の先生方には院内掲示用の登録証をお送りしており、地域医療連携の“見える化”にもつながっていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



登録申請二次元コード

2025年 KDU アワード受賞

2025年12月18日(木) 学校法人神奈川歯科大学の忘年会が開催され、法人内の各部門からそれぞれ最も目覚ましい活躍のあった教職員が表彰されました。

附属病院部門からは「歯科技工学分野・診療科助手/歯科技工士 飯塚直人」さん、「院務部 地域連携室主任 佐藤朋子」さんが表彰されました。

鹿島理事長から KDU アワードの賞状と心づけが授与されました。

今回受賞された飯塚さんは2024年から歯学部生の臨床実習に追加された技工学分野の技工演習に教員として尽力され、学生から評判も良く、学生の習熟度に応じた適確な助言・指導を行ったことが評価されました。

次に、地域連携室主任の佐藤さんは附属病院の地域連携・広報担当としてHPの編集、ランディングページの作成に大きく貢献されました。また、昨年9月に立ち上げた「かながわ顎矯正・診療連携ステーション」の設立懇親会や同年11月の近隣医療機関との「医科歯科連携懇親会」の企画・準備、当日の司会・運営を主体的に担い、参加者からの多くのグッドコメントが寄せられたことが評価されました。

受賞された皆様の益々のご活躍を期待します。

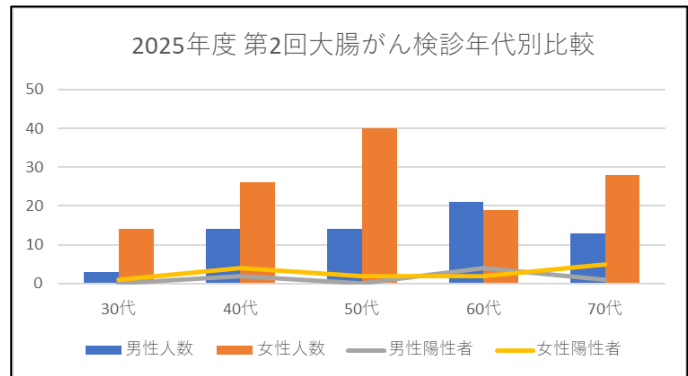


開院8周年記念企画 第2回大腸がん検診実施報告

2025年度は2回の大腸がん検診を実施しました。期間は1月20日(火)～1月31日(土)に実施し、申込総数は201件、検体提出件数は192件、回収率95.5%となり、1回目と比較しても件数はほぼ同数でした。本年度1回目の陽性率は15.5%、今回は10.9%と減少しました。

皆様が日ごろから健康管理に留意している結果かと思われます。

また、陽性者についても引き続き検査結果を踏まえ、今一度、消化器内科の受診をご検討いただきたくお願い申し上げます。



地域連携室から

神奈川歯科大学附属病院では地域連携室で他医療機関からのご紹介や患者様からのご相談、予約管理に対応させていただきます。

お気軽にご相談下さい。

〒 238-8570

横須賀市小川町 1-23

神奈川歯科大学附属病院 地域連携室

電話 046-822-8877

FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

